

### 法話

おじいさんのぬくもり  
仏となられた方は  
私たちをお浄土へと導かれる

巖后 願範師  
いわご あきのり

岐阜市 願照寺衆徒  
臨床宗教師

### 「臨床宗教師」

医療現場や被災地など、公共空間で心のケアを提供する「臨床宗教師」という資格があります。私が以前、臨床宗教師として岐阜市内のクリニックに勤めていた時のことです。

そのクリニックでは在宅医療を行っており、自宅で生活する人たちに医療を提供します。中には自宅で最期を迎える患者さんもおられ、私も臨床宗教師として医師の往診に同行し、いろんな出会いをさせていただきました。

そんな経験をさせていただいた中、あるおばあさんとの出会いが、とても大切な縁でした。そのおばあさんは、もともと夫婦二人暮らしで、寝たきりのおじいさんに往診をする医師と一緒に私は訪問してました。ご夫婦は仏教を篤く信仰されていて、私が臨床宗教師で僧侶でもあることをお話しすると、宗旨は異なりましたが、とても

喜んでくださいました。医師がおじいさんの診察をしていて、私はおばあさんのお話を傾聴させていただきます。

そのお宅での傾聴は、お仏壇にご挨拶をしてから始まるのが恒例となりました。お仏壇の前で、夫婦のなれそめやこれまでの人生のこと、おじいさんの体調のことやこれからの不安、いろんな話しを聞かせていただきました。帰り際にはいつも「ありがとうがとうね。ありがとうね」と繰り返されました。

そもそも、臨床宗教師とは、公共空間で、心のケアを提供する宗教者です。活動の場が公共空間ですから、いろんな価値観、宗教観をもった方と関わります。そのため、仏教、キリスト教、神道など、さまざまな信仰を持つ宗教者が協力して活動しています。相手の価値観を尊重し、寄り添うことで心のケアをするので、臨床宗教師として活動する際は布教や伝道を行いませんが、臨床宗教師としての経験から、時には私自身が阿弥陀如来のおはたらきを感じるようなご縁をいただきます。

訪問を開始してから3ヵ月ほどが経過した頃、おじいさんは、おばあさんに見守られながら、ご自宅で穏やかに息をひきとられました。おじいさんへの往診はそれで終わりましたが、私は

引き続き臨床宗教師として、一人暮らしのおばあさんを訪ねることにになりました。

訪問をしたら、まずはお仏壇へのご挨拶から始まります。仏さまに合掌、礼拝をしてから、変わりはなくお話を聞かせていただきます。

ふと、おばあさんの手元を見ると、ふたつのお念珠を持っています。いつもおばあさんが使っている小玉で赤色のお念珠ともうひとつ。それよりひと回り大きいお念珠です。気になったので尋ねてみると、おじいさんのお念珠と一緒に持っているとのことでした。

「こうやって一緒にお念珠を持っていると、おじいさんといっしょにお参りできている気がしてね。寝たきりで、なかなかお仏壇にお参りできなかったから、なんだかうれしいね」  
ケアを提供する立場の私の心もあたたかくなりました。

### 親鸞聖人のお手紙

親鸞聖人が晩年、ひとりの門弟に書かれたお手紙にこうつぶられました。

「この身は、いまは、としきはまりて候へば、さだめてさきだちて往生し候はんずれば、浄土にてかならずかならずまらまるらせ候ふべし」

この世との縁が尽き、阿弥陀

如来の極楽浄土へと住生された方は、阿弥陀如来のはたらきによって、さとりをひらき、仏さまとなられます。

仏さまとなられたら、今度はこの迷いの世界に還り来て、私たちをお浄土へと導くよう常にはたらき見守ってくださいます。「死んだら終わり」—そんな人生ではなく、この世との縁が尽きてなお、今度は仏さまとして活躍の場が広がっているとお示しくださっています。

ふたつのお念珠を握りしめながら、「なんだかうれしいね」と語られるおばあさんのそばには、確かに仏さまとなられたおじいさんのぬくもりがありました。

「不安なことはないですか?」と聞くと、いろんなお話をされますが、最後には必ず「私は仏さまに見守られているからね」と、おっしゃいます。

そんな仏縁を喜ばれる姿に、僧侶として、阿弥陀如来の世界、極楽浄土を感じさせていただいたのです。

本願寺新報 令和3年3月1日号掲載



## 仏教の新年

4月8日は、お釈迦様のお誕生日です。お釈迦様がお生まれになったときに、花が一斉に咲き乱れ、大気はうち震えて甘露の雨が降ったと伝えられています。

教誓寺でも、小さな花御堂を飾り、お釈迦様のお誕生日をお祝いします。

イエス様のお誕生日を、あんなに盛大にお祝いするのでしたら、お釈迦様のお誕生日もみんなでお祝いしましょう。



## 住職より

教誓寺ホームページについて  
インターネットで公開していた教誓寺のホームページは、サーバープロバイダーの、代替措置無しの公開スペース閉鎖を受けて、一時的に公開を中止して

います。

公開場所も含めて、皆様からご助言をいただけたら嬉しい限りです。

4月復活を目指しています。皆様には、頃合いを見計らって「都心の小さなお寺」「教誓寺」で検索してみてください。

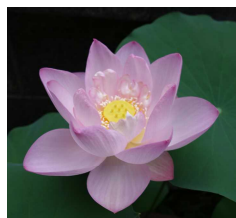
## 蓮の植え替え

やっと昨年、手入れをしてきた蓮が開花してくれました。

植え替えの時、もったいぶらずに「ひと鉢にひと株」(大きな鉢には二株)にしたのが良かったのかなと思っています。

今年はややくなるのが早く、「そろそろ植え替えなくては」と思います。一鉢に一株入れた蓮も、新芽の蓮根は複数出ています。この中から一番大きいものを選んで植え込むのですが、あきらめるには惜しい蓮根も出てきます。

もしよろしければ、おうちで蓮を栽培してみませんか。少しなら蓮用の鉢も余っています。お申し出をお待ちしています。



## 彼岸会法要のご案内

彼岸とは、仏さまのさとりの世界、お浄土のことです。様々な煩惱に生きる私たちの生活の中で、夕日が真西、お浄土の方向に沈む春分の日を中心とした1週間、彼岸(お浄土)を思いながらお勤めする法要です。

## 教誓寺彼岸会法要

3月20日(土) 春分の日

午後2時より  
ご都合のつく方は、  
時間に合わせて  
お参り下さい。

○ご一緒にお勤めしましょう

## \*お彼岸の期間は

春分の日の前三日間と  
後の三日間の七日間です。

今年も

3月17日(水)〜23日(火)

また、20日 21日は人出も多くながちです。平日にお出かけ下さるとゆったりとお参り出来ると思っています。

お出かけになれない時は、お寺にご連絡を頂けば、お花とお線香をお供えして、皆様にお引受けします。

## ○新型コロナウイルス対策

緊急事態宣言が2週間延長になり、彼岸会法要が緊急事態下になりました。

お墓は、開放空間で心配はないと思いますが、本堂内が心配な方もいらっしゃると思います。

玄関での、手指消毒とマスク着用のうえ堂内にお入り下さい。次亜塩素酸による空間除菌も行いますが、当日暖かければ完全開放で法要を執り行いと思っています。

## 維持(会)費

進納のお願い

教誓寺総代・世話人一同

令和3年度の

教誓寺「維持費」のご進納をお願いいたします。

詳しくは、同封の別紙  
教誓寺維持費(護持会費)

納入のお願いを  
ご参照下さい。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺

108-0073

東京都港区三田 一十二一十一

〇三(四五)一二九

kyousei.ji@js4.so-net.ne.jp